

# 災害に強い街づくりへ全力

## 公明 各地で精力的に視察、調査

### 津波から命を守る堤防へ

愛知県議団

公明党愛知県議団(木藤俊郎団長)は、このほど、同県豊橋市にある豊橋海岸、三河港大橋の耐震化・補修工事現場などを視察し、

津波や地震から住民の命を守るための取り組みについて、関係者と意見交換した。

### 防災・減災 ニューティール

同市は、三河湾に面していることから、大規模災害が発生した場合、津波による甚大な浸水被害が出ることを予想されている。このため、一行が訪れた豊橋海岸では約5mにわたる堤防を築き、液状化による堤防の沈下に伴い、約15層の鋼板を地面に埋め込む対策を講じている。



豊橋海岸で堤防の補修工事現場を視察する  
党愛知県議団(右から6人)

また、一行は豊橋市の三河港大橋を訪れ、田原市を結ぶ築30年補修工事現場で工事内

容について説明を受けた。この橋は災害時の緊急輸送道路にも指定され、耐震化が急務になっている。県の職員によると、落橋防止対策として橋脚と橋桁をつなぐ部分に鉄柱を打ち込むことや、コンクリートによる橋脚の補強などを行っているという。

木藤団長は「災害から住民を守るためには、あらゆる備えが重要だ。県議団としても防災・減災に全力を尽くす」と決意を述べた。